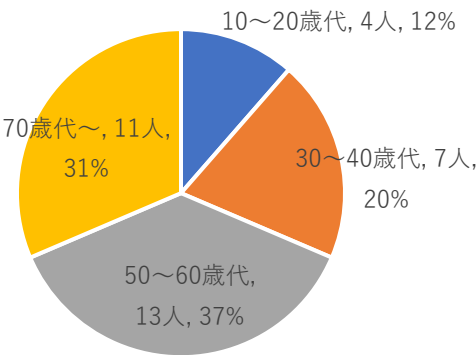
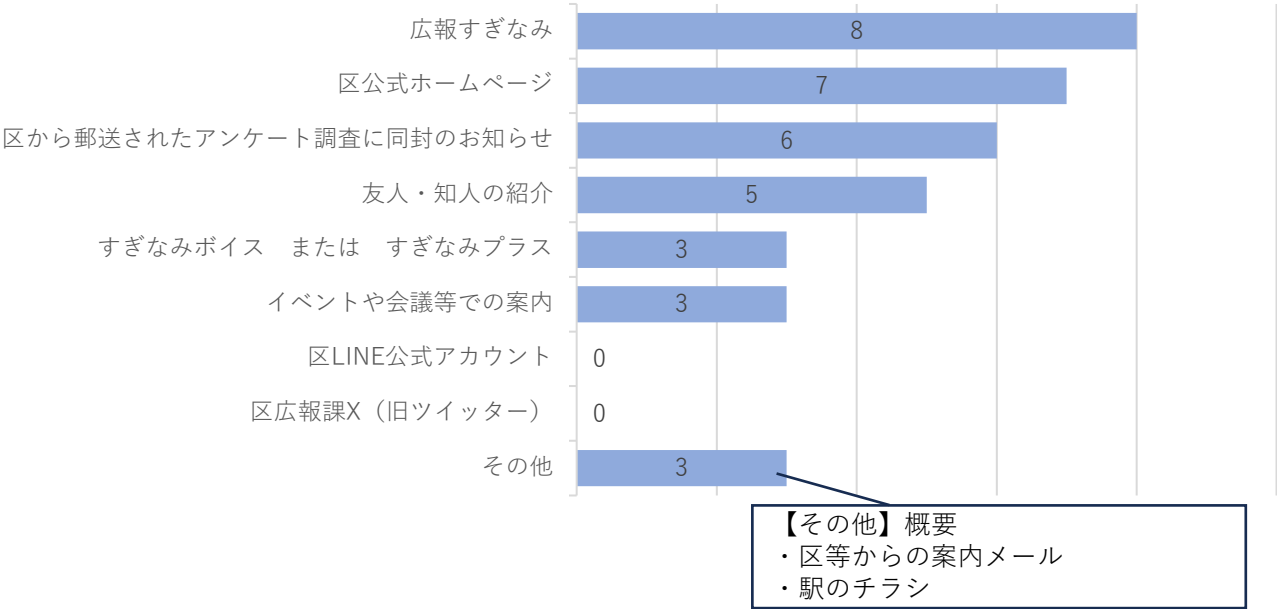


令和7年度区民参加型予算事業ワークショップ 参加者アンケート集計結果
(6月29日実施)

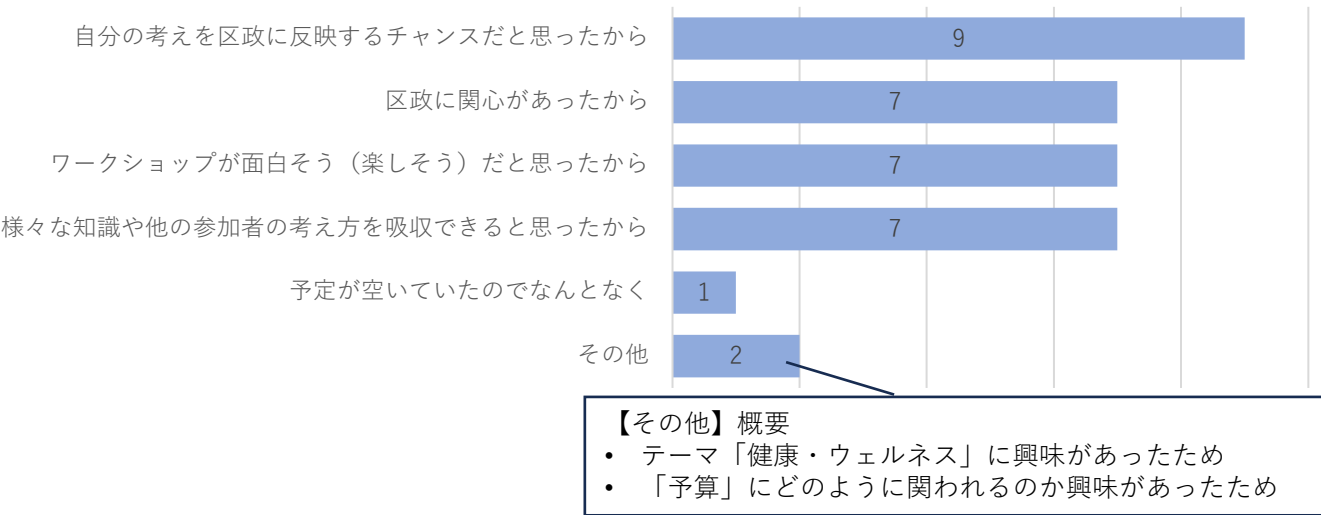
【年代別構成】



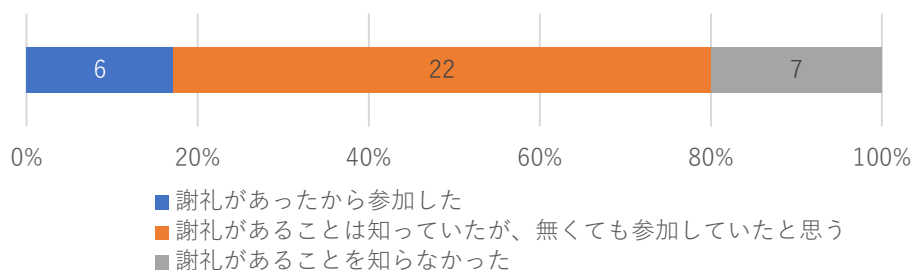
○ワークショップの開催を何で知りましたか。(1つ選択)



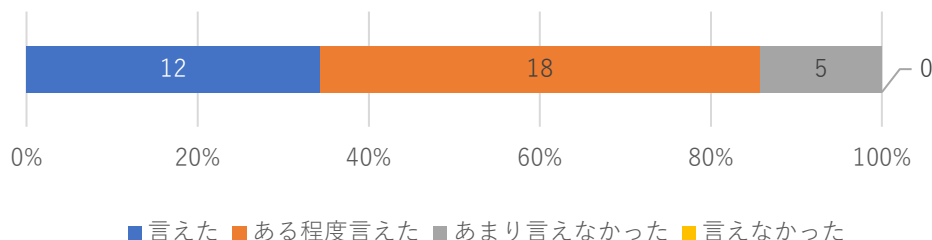
○ワークショップに参加しようと思った理由を教えてください。(1つ選択)



○謝礼は参加の動機になりましたか。（1つ選択）



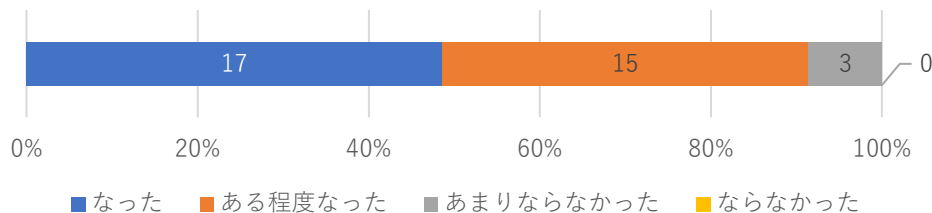
○ワークショップでは、あなたの言いたいことは言えましたか。（1つ選択）



「あまり言えなかった」と回答した方の意見（概要）

- ・ 時間が足りなかったため
- ・ 他の人の意見を尊重し、協調した方が良かったため

○今回の参加を通じて、区民参加型予算で事業を提案したいと思えるようになりましたか。（1つ選択）

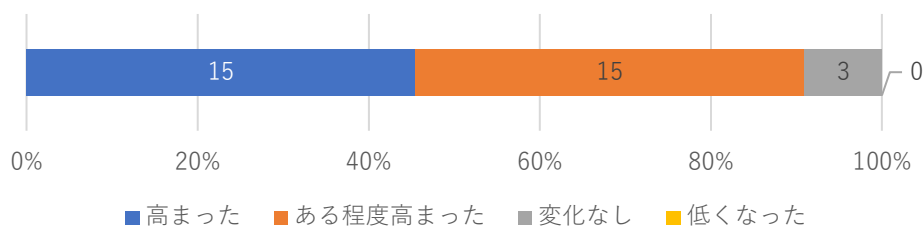


○区民参加型予算で事業を提案するとしたら、どのような情報や支援が必要だと思いますか。（自由記載）

（概要）

- ・ 行政の既存の取り組みや民間の活動状況をわかりやすく公開
- ・ 区の課題をわかりやすく公開
- ・ 提案書作成のサポート
- ・ 提案の際のポイントを公開
- ・ 区として参考にしたい区民の意見、施策のテーマ（ex.広報をブラッシュアップしたいのでより多くの区民に届けられる施策を提案してほしい）など分かると提案しやすい
- ・ 提案作成段階での区からのフィードバック
- ・ 情報・地域・健康度による偏りのない人を集めた、会場に行かなくても参加できるワークショップの開催
- ・ 特になし

○今回の参加は、区政への興味・関心は高まりましたか。（1つ選択）



○ワークショップを通して、区民として区の施策の検討に参加する際に、どのような姿勢や考え方を大切にすべきだと感じましたか。（自由記載）

（概要）

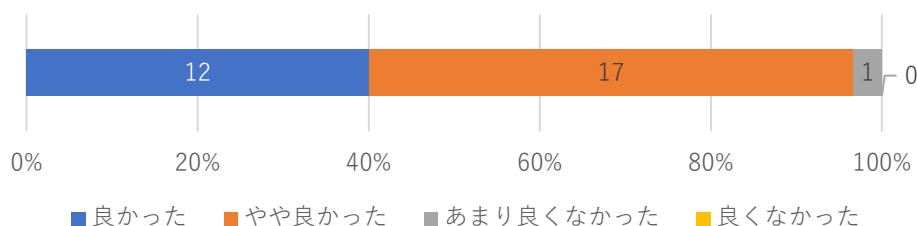
- ・ 区（行政）の施策をしっかりと知った上で提案する姿勢
- ・ 様々な事情のある人（当事者）の視点、参加が必要
- ・ 区が何をやっているのか興味関心を持つこと
- ・ 欠点を見つけて改善するのではなく施策として実現されていない部分を発見すること
- ・ 区としての信頼性がある事業が行われるべきと考え、信頼性その可能性を排除するにはどうしたらよいか考えることが必要
- ・ 自分の思いと他のバランス（単年度予算等、必要性など）を考慮すること
- ・ 区民としてやりたいことと、区ができること（そのための観点）が異なることを理解すること
- ・ 当事者・区民ならではの視点を積極に出すこと
- ・ 多様な意見を尊重すること、区と民の役割分担を理解すること
- ・ 国、都、区、民間がそれぞれにどうあるべきか役割はなにか？を区民も意識すべきだと思った
- ・ 区だけが尽力しても解決できることは少なく、住民、企業と共創することは全事業に必要だと思った
- ・ 自分だけでなく多様な方々に必要なことなのかという視点を常に持つことが大切
- ・ 個人でなく「区にして欲しいこと」という視点が必要
- ・ 誰が一番困っているかを正しく知り、意識し、何とかしようと思うこと
- ・ 自分の意見だけでなく様々な立場からの目線を大事にすること
- ・ 興味、関心を持つ。公共性に捉われすぎない（提案の時点では自由に）
- ・ 区民としてまちの主人公として地域の活動の中から意見を責任をもって出していくこと
- ・ 今の取組を良く知ってその組合わせで解決できることがあるか、という視点、その上で新たな施策の検討
- ・ できる、できない関係なくまずは意見を言うこと、そして否定をせず、色々な方の立場に立つこと

○区の施策の検討に区民が参加するにあたって、行政側に求められることは何だと思いますか。
(自由記載)

(概要)

- 広報の拡充
- (杉並区はできていると思うが) 区民の意見、想いに耳を傾けること
- 意見を聴いて、実行すること
- 簡潔な説明、提案を前向きにとらえる姿勢
- 区が抱えている課題の提示
- 区民が区側の提案、取組を広く知ることができる身近な機会の創出
- 一部の権利にならないように区民全員にとって役立つことか考えてること
- どのような提案もまずは落とし込んで良い点を確認
- 現在区で取り組んでいる事業とその効果(評価)をまとめておくこと(似たアイデアにならないように)
- 縦割りの廃除。国、都がセクション毎の施策を要求してきた時も、総合的視点から区民向け施策を組み直して展開して欲しい
- 話し合いの場所提供、印刷やPC利用の補助
- 柔軟な思想
- 施策立案の素案段階での意見を取り入れること
- 何のために区民の参加を求めているのか、区民に何をしてほしいのかを明確にすること
- よく話を聴くこと
- 区で働いていて困っていることを共有すること。区の方も働く世代で困っていることがたくさんあると思うので、区の方が困っていることを打ち明け住民たちと一体になって課題解決していくのが良いのではないかと
- 個人の思いに寄り添うことと、公共性を確保することのバランスをとること

○ワークショップの内容や進め方(テーマ、時間配分、進行役、グループ編成など)はいかがでしたか。(1つ選択)



それぞれの回答者からの感想・意見(概要)

●「良かった」と回答した方

- 時間管理がされていて充実していた
- 回数、曜日、所要時間が適切だった
- 自分たちで考え一つのことを議論し創り上げていく経験ができた
- 各回の進め方は良かったが、全4回の開催でもよかったかもしれない
- ブラッシュアップ、班の方との意見の共有の時間が少なかった
- 興味関心によってグループを組み替えたのがよかった
- 各班のアイデア1つ1つに対し区からのデータ提供やフィードバックがあったのがよかった
- 区民として、区の職員を知り、身近に感じられる機会となった

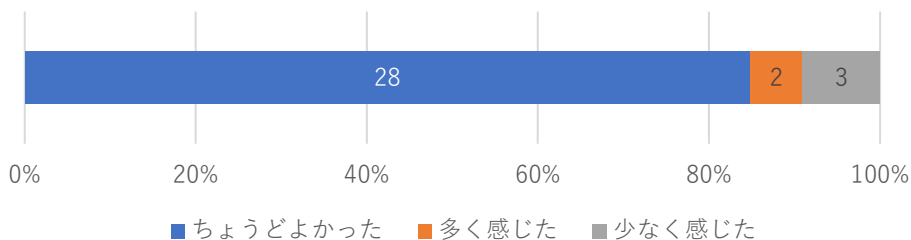
●「やや良かった」と回答した方

- ・ グループで話し合う時間がもう少しあったらよりよかった
- ・ 議論をする時間が足りなかったため、議論の時間を増やすか、効率的な議論を促す仕掛けを設けるかを検討してほしい
- ・ 時間が長すぎた
- ・ 個々の意見、アイデアを集約してほしい
- ・ 「時間が足りなかったら別の機会に集まってやっても大丈夫です」という話があったが、平日仕事をしている身としては中々厳しく、そういう点では高齢者を対象にした取り組みのように感じた

●「あまり良くなかった」と回答した方

- ・ 3日間を通じたタイムテーブルを示してほしい
- ・ 1日毎のゴール設定が不明確だった

○今回のように「3回連続で参加する形式」について、どのように感じましたか。（1つ選択）



それぞれの回答者からの感想・意見（概要）

●「ちょうどよかった」と回答した方

- ・ 2回では少なく4回は多いと思う
- ・ 時期も良かった
- ・ 1, 2, 3回とちょうどよい内容で進んだ
- ・ 議題的に3回は絶対必要と感じた
- ・ 何なら午前中から丸一日やっても良いと思う
- ・ 納得いく提案を作成するには3回では足りないが、これ以上多くても続けられないと思う

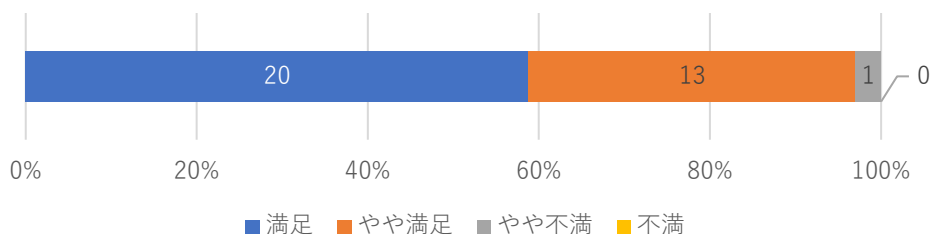
●「多く感じた」と回答した方

- ・ 3回の開催は良いが、1回4時間は長いため、せめて3時間にしてほしい

●「少なく感じた」と回答した方

- ・ 4回くらい開催の方が良い
- ・ ブラッシュアップ、班の方との意見の共有の時間が短かった

○ワークショップの満足度（また、参加したいと思える内容だったか。）を教えてください。（1つ選択）



それぞれの回答者からの感想・意見（概要）

●「満足」と回答した方

- ・メンバーとの議論ができてよかった
- ・色々な意見を聴くことができ勉強になった
- ・区政や区民コミュニティに参加でき、色々を知ることができたというのが素晴らしいかった
- ・行政の方と話をする機会、意見を伺う機会は有意義だった
- ・普段関わることのない人と交流して意見交換出来てよかった

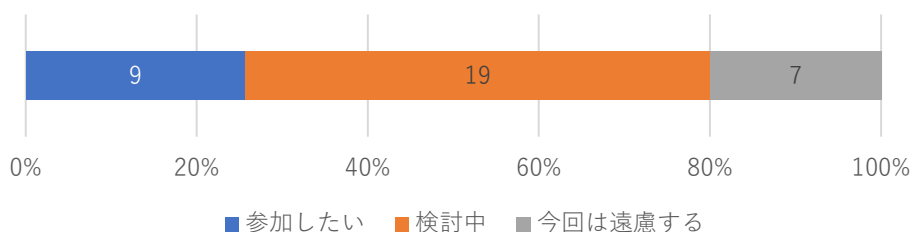
●「やや満足」と回答した方

- ・模擬投票で1位だった場合のインセンティブがあればよかった
- ・場所・内容がよかったが、エアコンが寒かった

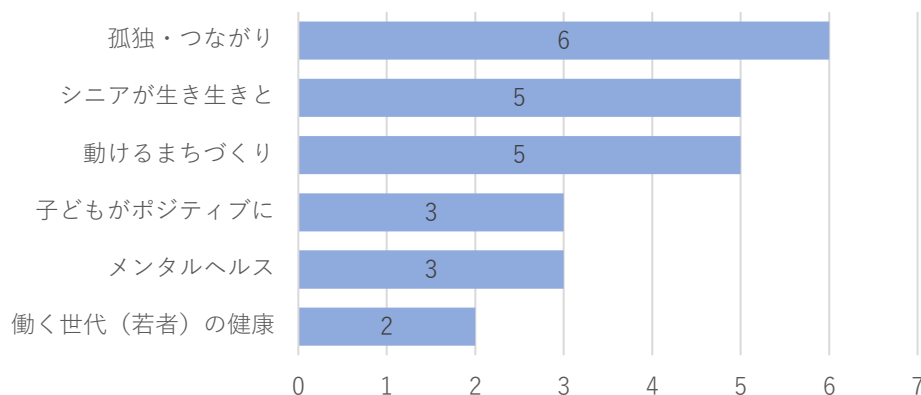
●「やや不満」と回答した方

- ・一人一人の声、アイデアを発表しづらかった

○7月30日（水）に特定のテーマについて語り合う場である「すぎなみプラステーマ会」を開催する予定です。ご参加について教えてください。（1つ選択）



○上記で「1. 参加したい」または「2. 検討中」を選択された方に伺います。
このテーマ会で話したいテーマを選んでください。（1つ選択）



○ワークショップに参加してのご意見や感想を自由にご記載ください。（自由記載）

（概要）

- 多くの人との出会いがあった
- 自分の考えをまとめることができた
- 現在自分に取り組んでいる課題について多くの知見が得られた
- アクティブな方が多く刺激を受けた
- 場づくり、関係づくり、きっかけとして参加できて大変満足
- 他の参加者の提案を聞いて、様々な立場の人がいることを実感した。どうしても多数のことに目が向けられがちだが、マイノリティも取りこぼさないシステムができれば良いと思った
- 区政に改めて興味を感じ、区の未来を考える機会となった
- 区が発信している情報は多岐にわたるが、それを知らないことを自覚した
- 区民の意見が少しでも反映されると良いと思う
- 初めての経験だったため、とても勉強になった
- これまで杉並区に長年住みながら気づく問題を何とかしよう（何とかできる）という気持ちにならなかったが、この「参加型」という取り組みは意義深いと思う。これからは、もっと自分事として考えていきたい
- 区HPをきちんとチェックしようと思った
- とても快適にワークショップに取り組むことができた
- 区民参画をテーマとしたとても良い取り組みだと思うが、最終目標は一人でも多くの区民が区政に参画することだと思う。自分を含め、比較的区政に関心がある方々が本WSに集まっていると思うが、その効果がどれ程広がっているのか追っていただきたい（一部の区民に留まっていないか？）
- 区民からどのような知恵が欲しいかわかると良いと思った
- 区から多くの情報が提供されてよかった
- 参加型予算の取り組みを通じて、現在の区の施策に対してその不足している部分や課題としてとり残されることについて指摘がなされることになり、区政の良い評価・チェックになるのではないかと
- 区長の話聞いてよかった
- 行政の方の話がリアルに聞いてよい
- ワークショップをきっかけに、問題意識を深化できた
- 会場が寒かった
- 職員が優しく接してくれてよかった
- 参加者の年齢層が高かったのも、もっと若い人に出席してほしいと思った
- 「広報すぎなみ」をもっとじっくり読んで情報収集したいと思った
- 区の職員にとって、どういう気づきや中長期的な効果があるか関心がある
- 誰でも成長できるwell-beingよりよく生きる力の健康と福祉を（過去の福祉の健康感でなく）